

たきかわCS通信



滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和2年 11月27日発行 ー 第 22 号 ー

～ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制～ 【実践例紹介】

江部乙中学校 全校道徳授業

講師 北海道開発教育ネットワーク(D-net)

札幌市立札幌中学校 教諭 柴田 峰子さん



地球の未来を考える

～ マニユール湾(架空)の事例から ～



各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらも少しずつ教育活動を広げています。今回は、滝川市立江部乙中学校の外部講師による国際理解教育全校一斉道徳授業をご紹介します。

10月30日(金)、江部乙中学校では、北海道開発教育ネットワーク(D-net)・札幌市立札幌中学校の柴田峰子先生をお迎えし、全校一斉道徳授業が行われました。

SDGsの内容による全校一斉道徳授業は、川田一之前校長からの紹介で始められ、3年目となりました。SDGsは、国連の持続可能な開発目標であり、17のグローバルな目標と169のターゲットからなる2030年までに達成すべき目標です。未来を担う生徒たちにとって、国際問題を身近なこととして捉え考えるよい機会になりました。また、普段の授業の成果を活かし、積極的に話し合いに参加し、発表できたことも大変良かったと思います。

北海道開発教育ネットワークの皆さん、柴田先生、実り多き授業を誠にありがとうございました。

内容は、SDGsの2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」を前提に、架空のまちマニユール湾の事例から地球の未来を考えるという授業でした。

昨年、江部乙中学校の生徒のみなさんの授業の様子を拝見し、ぜひ、みなさんと一緒に授業ができればと思っていました。今回は、その念願が叶い、大変嬉しいです。今日は、みなさんが考え、悩み、しっかりと発表する姿をぜひ見たいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



柴田峰子先生



鳥谷部賢太校長・橋本孝博教頭



江部乙中学校



D-net
橋詰典明代表



石狩市立南線小学校
口岩竜馬先生

授業の様子



事例紹介

《マニュー湾の人々》

1. ソム(水上村村長)
2. サイ(村の若者)
3. レッド(ツアー会社社長)
4. カン(マニュー湾を守る会)
5. ルイ(マニューの役員)



マニュー湾の人々



《マニュー湾の人々》

1. ソム(水上村村長)
2. サイ(村の若者)
3. レッド(ツアー会社社長)
4. カン(マニュー湾を守る会)
5. ルイ(マニューの役員)

どの役になるのかドキドキ



どの役になるのかドキドキ



役になりきり熱い討議を展開



同じ役同士の作戦タイム



班の考えを発表



感想をすく書き始める生徒たち

(事例)

マニュー湾に住む人々は、筏(いかだ)住居を建て、自然と共存しながら伝統的な暮らしを守ってきた。しかし、マニュー湾の美しい景観が2000年に世界遺産に登録されると、観光客の数は15年の間に150倍も増え、ゴミや汚水で、マニュー湾は汚れてしまう。

そこで、マニュー湾の村人が集まり「村は今後どうなっていけばよいか」をそれぞれの立場から話し合う。

現在の世界環境がここまで深刻な問題になっているとは思いませんでした。この授業を通して、他の人の役に立ちたい、そのような仕事に就きたい、自分にもできるかもしれないと改めて感じました。今日は、本当にありがとうございました。



お礼の挨拶

生徒たちは、班の中で5人の役割カードを与えられ、村人になりきって、今後の村の在り方について話し合うことになりました。

話し合いが進むに連れ、「湾を守りたい、しかし、その汚れた湾を浄化するためには経費を賄うために経済を回す必要がある…」などそれぞれの立場での正論と与えられた役割とは考えの異なる自分という立場で話し合わなければならない矛盾など、普段とは違う心の葛藤を感じながら、大変熱心に討議は続けられました。

この授業は、生徒たちにしっかりと考えさせ、話し合わせ、矛盾点を感じさせることで、生徒たちの考えがより明確になり、自信をもって授業に臨んでいたように思います。このように真剣な討議ができたのは、やはり先生と生徒たちの日々の授業スタイルと学習の成果であったことは言うまでもありません。まさに生徒主役の授業でした。

90分授業でしたが、綿密に準備・計画された柴田先生の授業展開と生徒たちの熱心な討議に魅せられ、あっという間の時間でした。柴田先生、D-netの皆さん、江部乙中学校の先生、生徒の皆さん、心に響く授業をありがとうございました！

実際にハトナム・ラオスを訪問し、SDGsについて真剣に考えてほしいという強い願いで展開された授業でした。それに応えるように徐々に熱を帯び、本気で課題に向き合っていく生徒たちの姿は、大変に残りました。

